あなたも民間交流親善大使として、イベントに参加しませんか？

参加募集要項（一部抜粋）

お申し込み方法

当財団または旅行会社までお申し込みください。
- ●参加申込書
- ●プロフィール及び写真（2枚）
- ●公演内容のわかる映像・資料など
- ●展示内容がわかる資料など

お申し込み締め切り

2021年6月30日（水）

※詳しくは当財団発行の参加募集要項をご覧ください。

ご参加の費用

参加登録料 お一人様３万円

参加登録料はジャパンウィーク運営費用に充てさせていただきます。
主な内容は以下の通りです。
- ●会場施設にかかわる経費
  （会場費、音響・照明機器使用料、舞台装置の制作費、展示会場の設営費など）
- ●ボランティア通訳やスタッフ等の人件費
- ●東京湾地区指定搬入先からセビリア市内会場までの往復船便貨物輸送費など

※ご参加にかかる旅行代金は含まれておりません。

ジャパンウィークの歴史

1986年のイタリア・フローレンスで第1回目を開催。2021年で46回目、35年目を迎える。

回	開催年月日	開催地	開催都市	参加団体数	参加人数	現地見学者数
第 1 回	1986年 11月	イタリア	フローレンス市	43団体	1,200人	80,000人
第 2 回	1987年 10月	オランダ	アムステルダム市 ユトレヒト州	33団体	750人	70,000人
第 3 回	1988年 11月	ドイツ	ハンブルグ市	39団体	900人	25,000人
第 4 回	1989年 11月	フランス	マルセイユ市	79団体	2,450人	95,000人
第 5 回	1990年 11月	イギリス	グラスゴー市	41団体	1,040人	39,000人
第 6 回	1991年 5月	アメリカ	ユタ州 ソルトレイクシティー市	58団体	1,800人	80,000人
第 7 回	1991年 11月	フランス	ボルドー市	36団体	910人	54,000人
第 8 回	1992年 5月	アメリカ	オレゴン州 ポートランド市	80団体	2,200人	267,000人＊
第 9 回	1992年 11月	スペイン	グラナダ市	40団体	1,200人	50,000人
第10回	1993年 6月	アメリカ	アリゾナ州 フェニックス市	64団体	2,050人	62,000人
第11回	1993年 11月	ベルギー	アントワープ市	43団体	780人	48,000人
第12回	1994年 5月	アメリカ	ミネソタ州 ミネアポリス市	60団体	1,500人	90,000人
第13回	1994年 11月	フランス	トゥールーズ市	40団体	1,300人	50,000人
第14回	1995年 5月	アメリカ	ニューメキシコ州 アルバカーキ市・サンタフェ市	52団体	1,000人	75,000人
第15回	1995年 11月	オーストリア	ザルツブルグ市	150団体	3,200人	20,000人
第16回	1996年 5月	アメリカ	マサチューセッツ州 ボストン市	40団体	1,000人	10,000人
第17回	1996年 11月	イタリア	ヴェニス市	50団体	1,300人	20,000人
第18回	1997年 6月	アメリカ	カリフォルニア州 ロングビーチ市	40団体	1,200人	12,500人
第19回	1997年 11月	スペイン	セビリア市	50団体	1,200人	14,500人
第20回	1998年 5月	カナダ	ブリティッシュコロンビア州 バンクーバー市	60団体	1,000人	11,000人
第21回	1998年 11月	ハンガリー	ブダペスト市	45団体	1,000人	10,000人
第22回	1999年 5月	カナダ	オンタリオ州 ナイアガラフォールズ市	18団体	600人	32,400人
第23回	1999年 11月	フランス	リヨン市	65団体	1,300人	13,000人
第24回	2000年 6月	キューバ	ハバナ市	31団体	400人	20,000人
第25回	2000年 10月	オランダ	ライデン市	57団体	1,100人	10,000人
第26回	2001年 11月	イギリス	バーミンガム市	29団体	700人	15,000人
第27回	2002年 11月	チェコ	プラハ市	54団体	1,400人	38,000人
第28回	2003年 11月	トルコ	イスタンブール市	44団体	2,000人	30,000人
第29回	2004年 11月	ポルトガル	リスボン市	44団体	1,500人	30,000人
第30回	2005年 11月	イタリア	カンパーニャ州 ナポリ市	72団体	1,700人	30,000人
第31回	2006年 11月	スペイン	カスティーリャ・イ・レオン州 サラマンカ市	45団体	1,500人	41,000人
第32回	2007年 10月	ポーランド	ワルシャワ市	40団体	1,200人	32,000人
第33回	2008年 11月	フランス	ストラスブール市	41団体	1,100人	12,000人
第34回	2009年 11月	オーストリア	グラーツ市	38団体	700人	14,000人
第35回	2010年 11月	ポルトガル	ポルト市	40団体	920人	16,000人
第36回	2011年 11月	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン市	58団体	1,063人	21,000人
第37回	2012年 11月	スペイン	バレンシア市	45団体	941人	23,250人
第38回	2013年 10月	ポーランド	ポズナン市	52団体	861人	21,600人
第39回	2014年 10月	スイス	ベルン市	61団体	1,264人	14,000人
第40回	2015年 10月	フィンランド	ヘルシンキ市	68団体	1,000人	64,000人
第41回	2016年 10月	ベルギー	ブリュッセル市	中止		
第42回	2017年 11月	チェコ	プラハ市	78団体	1,350人	40,000人
第43回	2018年 10月	イタリア	トリノ市	53団体	1,007人	21,000人
第44回	2019年 11月	ギリシャ	アテネ市	87団体	1,314人	24,000人
第45回	2020年 11月	スペイン	セビリア市	中止		
第46回	2021年 11月	スペイン	セビリア市	2021年11月20日～26日　開催予定		

＊ローズフェスティバルのスターライトパレードにおける観客を含む

お申し込み・お問い合せ

公益財団法人 国際親善協会
International Friendship Foundation

〒112-0003　東京都文京区春日2-10-15志知ビル４階
TEL：03-5802-0351 FAX：03-5802-0353
E-mail：info@iffjapan.or.jp　URL：http://www.iffjapan.or.jp

「ジャパンウィーク」は登録商標です。

出演者・出展者 募集中　参加申込締切　2021年6月30日（水）

35th Sevilla

第46回 ジャパンウィーク 2021年

スペイン／セビリア Sevilla

主催：公益財団法人 国際親善協会、スペイン王国・セビリア市

©スペイン政府観光局

開催期間　2021年11月20日（土）～11月26日（金）

TURESPAÑA ESPAÑA

Embajada del Japón en España

NO8DO AYUNTAMIENTO DE SEVILLA

世界とつながる 和のこころ

JAPAN WEEK™

日本各地で守り育まれる、伝統芸能や創造的な文化。
ジャパンウィークは、その多彩な魅力を海外で披露・紹介し、
楽しみながら日本の文化に触れ、お互いの交流を育む国際交流イベントです。
市民主体の交流を通じ、日本と開催国間の友好親善、相互理解の促進、
両国の地域社会づくりへ貢献することを目的とし、
日本側は公益財団法人国際親善協会、開催地側は開催都市や州自治体による
共同主催で執り行われています。

舞台公演

参加1団体につき15～20分の1公演。日本語による万全なステージサポート。

当財団の舞台監督、音響、照明のスタッフが皆様の公演をサポートします。当日はボランティアがお手伝いし、日本での公演と変わらない感覚で参加しやすいと評判です。海外公演が初めてでも安心です。

伝統芸能

和太鼓・民謡・獅子舞・神楽・文楽・お囃子・祭り・地歌舞伎・地域伝統芸能など

音楽

雅楽・三味線・琴・尺八・長唄・琵琶・大正琴・合唱・オーケストラ・ポップスなど

舞踊・演劇

日本舞踊・よさこい・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカルなど

ファッション

着物・婚礼衣装・伝統装束・コスプレなど

交流プログラム

現地の文化と交わる、絶好の機会。

開催地の団体への演奏披露やワークショップなどを通じ、交流を一層深めることができます。

展示・実演・ワークショップ

参加者1名につき幅1m、1団体につき最大幅5mのスペースを用意。

作品の展示や実演、ワークショップなどが行えます。会場にはボランティアが常駐し、言葉の心配もなく来場者との直接の交流が可能です。

伝統工芸

陶磁器・木工・木彫・竹細工・玩具・人形・漆器・蒔絵・押し絵・折紙・水引・染物など

手芸・服飾

刺繍・編物・染物・刺子・彫金・ちりめん細工など

美術

日本画・洋画・水墨画・マンガ・和紙ちぎり絵・版画・切り絵・写真・絵手紙など

料理・生活文化

料理・日本酒・作法・テーブルセッティング・囲碁・将棋・玩具など

茶道 書道 華道

海外遠征でも安心！発表の舞台はすぐそこに用意されています。

ジャパンウィークは、出演者・出展者の皆様が安心してご参加いただけるように言葉、現地での集客、大型荷物の運搬、セッティングなど海外遠征に伴う煩わしい事を全面的にサポート致します。

参加条件は？

プロ・アマ問わず、「日本を紹介したい！」という気持ちがあれば、どなたでも参加いただけます。

参加費用は？

ジャパンウィーク参加登録料 **お一人３万円**
登録料はすべてジャパンウィークの運営に使用されます。旅費は別途必要です。

滞在期間は？

参加イベントにより異なります。開催期間中ずっと滞在する必要はありません。

大きい荷物の運搬は？

大きな荷物はご希望により当財団の海上輸送コンテナで輸送します（大きさ、個数、重量制限あり）。輸送費用は参加登録料に含まれます。但し船便の為、前後４ヶ月ほどお荷物をお預かりすることになります。航空輸送は承っていません。

上記の他、ご要望に応じて様々な公演イベントをアレンジします。是非ご相談ください。

祭り

神輿・山車・各地の民踊・盆踊りなど

野外公演

ちんどん・よさこい・凧揚げなど

Spain
セビリア／スペイン

写真提供：スペイン政府観光局

Sevilla

大航海時代の都セビリア

15世紀半ばから17世紀半ばにかけて、ヨーロッパ諸国が他大陸への航海を行った時代は大航海時代と呼ばれています。スペインでは、1492年にコロンブスがスペイン女王イサベル1世の援助を得てアメリカ大陸に到達、1519年にはマゼランが世界一周を成し遂げました。新大陸の発見はスペインに大量の銀をもたらし、スペインは黄金時代を迎えました。この時代、大西洋へのアクセスに便利なセビリアは、アメリカ大陸との貿易拠点として栄華を極めました。
日本との関係で言えば、1549年にフランシスコ・ザビエルが渡来。1615年支倉常長ら慶長遣欧使節団が当時スペイン最大都市であったセビリアに到着。日本が鎖国を解いた後、1868年に修好通商航海条約を結び外交を開始し、2018年には二国間外交関係樹立150周年を迎えました。

セビリアの大聖堂 *Catedral de Sevilla*

セビリア大聖堂は1519年にモスクを改装して建てられました。ローマのサン・ピエトロ大聖堂、ロンドンのセント・ポール大聖堂に次いで世界で3番目に大きい大聖堂です。内部にはコロンブスの墓や黄金の衝立があります。大聖堂の鐘楼「ヒラルダの塔」は町のシンボルとなっており、展望台からはセビリアの街並みを一望することができます。

アルカサル *Real Alcázar de Sevilla*

アルカサルは、ムデハル様式の荘厳な宮殿です。ムデハル様式は国土回復運動後にキリスト教とイスラム教が融合して生まれた建築様式です。14世紀にカスティーリャ国王ペドロ1世は、グラナダのアルハンブラ宮殿をモデルとしてアルカサルを建てました。内部には天井が金色に装飾された大使の間、左右対称に作られた乙女の中庭などの見どころがあります。

セビリアへの訪問を心から歓迎します。

セビリア市長
ファン・エスパダス・セハス

第46回ジャパンウィークが当地で開催されることに市長として御礼申し上げると共に大変光栄な事と感じております。日本とセビリアは1614年慶長遣欧使節団の歴史的な訪問に始まり、現在もコリア・デル・リオにはハポン姓のその子孫が多く暮らしているなど密接な関係を保ち続けております。そのセビリアで街を象徴する歴史的な遺産を会場として開催されるジャパンウィークはきっとセビリアの歴史と日本の文化を見事に融合させ、両国の友好・親善を益々深めることとなるでしょう。セビリアは訪れる人にとって時に様々な顔をみせる魅力溢れる街です。是非、この機会にセビリアへお越しいただき、街をご堪能下さい。皆様にお会いできることを楽しみにお待ちしております。

国際交流再開をセビリアから

公益財団法人 国際親善協会　**鶴保 庸介**

第46回ジャパンウィークはスペイン・セビリアにて開催いたします。セビリアは大航海時代にはスペインの中心として栄華を極め、フラメンコやオペラの舞台としても有名な芸能・文化の盛んな歴史ある街です。支倉常長の慶長遣欧使節団訪問など日本とも所縁が深く、今日に於いてもスペインとは政治・経済・文化等様々な分野で良好な関係にあります。私どもは微力ながらこの地での市民レベルの交流を通じて、互いの文化を理解し、両国間の文化交流、友好関係の促進を図るとともに国際交流の意義とその重要性を認識し、新しい時代に向けた国際交流を再開いたします。スペイン・セビリアで皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第46回 ジャパンウィーク開催概要（予定）

開催期間	11月20日（土）～11月26日（金）
開催地	スペイン王国・セビリア市
主催	公益財団法人 国際親善協会
開催国側主催	スペイン王国・セビリア市
後援（予定）	在スペイン日本国大使館、国土交通省、文部科学省、スペイン政府観光局、セビリア市観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、一般社団法人日本海外協会
助成（予定）	公益財団法人 双日国際交流財団
協賛（予定）	日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、西日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行
日本側参加予定者	1,000人
スペイン側参加・見学予定者	20,000人

イベント日程表（予定）

	11/20（土）	11/21（日）	11/22（月）	11/23（火）	11/24（水）	11/25（木）	11/26（金）
オープニングフェスティバル	●						
ウェルカムレセプション	●						
舞台公演		●	●	●	●	●	●
展示・実演		●	●	●	●	●	
茶道		●	●	●	●	●	●
交流プログラム			●	●	●	●	●
自治体交流プログラム		●	●	●	●	●	

スペインのバル文化

スペインバルは日本でもお馴染みとなりました。バルとは日本で言う立席の居酒屋で、タパス（小皿料理）、ピンチョス（串料理）、アヒージョ（ニンニクとオリーブオイルで煮込む料理）などの軽食とお酒を提供しています。スペインでは至るところにバルがあり、スペイン人にとってバルは生活に欠かせない存在となっています。セビリア最古のバルは「El Rinconcillo（リンコンシージョ）」というバルで、1670年から現在まで営業を続けています。

フラメンコの本場、セビリア

フラメンコは18世紀ごろにスペインのアンダルシア地方で生まれた民族音楽・舞踊です。カンテ（歌）、トーケ（ギター演奏）、バイレ（踊り）を組み合わせた情熱的なステージは迫力があります。アンダルシアの州都セビリアはフラメンコの本場として有名で、毎年多くのフラメンコ愛好家がこの地を訪れます。市内にはフラメンコ用の舞台を備えたライブハウス「タブラオ」が複数存在し、食事をしながらフラメンコを鑑賞することができます。また、フラメンコ舞踏博物館では、フラメンコの歴史や種類などを学ぶことができます。

©スペイン政府観光局

スペインの見どころ

Barcelona バルセロナ

©スペイン政府観光局

サグラダ・ファミリア

バルセロナにあるサグラダ・ファミリアは建築家アントニ・ガウディの最高傑作として知られており、2026年の完成に向けて建設が進められています。市内に点在する他のガウディ作品、カサ・ミラ、グエル公園、カサ・バトリョなどと合わせてアントニ・ガウディの作品群として世界遺産に登録されています。

Madrid マドリッド

©スペイン政府観光局

プラド美術館

首都マドリッドにあるプラド美術館は、1819年スペイン王家のコレクションの保存・公開を目的として開館しました。世界三大美術館の一つと言われており、スペイン三大画家エル・グレコ、ゴヤ、ベラスケスの絵画を含む数千点の作品を鑑賞できます。

Granada グラナダ

©スペイン政府観光局

アルハンブラ宮殿

古都グラナダにあるアルハンブラ宮殿はイスラム建築の傑作と言われています。718年から1492年まで国土回復運動が続いた中で、スペイン最後のイスラム王朝・ナスル朝の砦となりました。ナスル朝宮殿のほかに軍事要塞のアルカサバや別荘のヘネラリフェなどの見どころがあります。

Mijas ミハス

©スペイン政府観光局

白い街並み

ミハスは「アンダルシアの白い宝石」と例えられる美しい街並みが特徴です。可愛らしい白壁の家が続き、その壁には植物が飾り付けられています。日照りが強いミハスでは、白い漆喰が日光を反射し外壁の温度を下げる働きをしてきたとのことです。

オープニングフェスティバル

11月20日(土)
1 サンフランシスコ広場

ジャパンウィークの幕開けとなるイベントとして、日本・スペイン双方の参加者によるプログラムを開催。このオープニングフェスティバルから日本・スペイン双方の「交流」が始まります。

サンフランシスコ広場
Plaza de San Fransisco

オープニングフェスティバル会場

サンフランシスコ広場はセビリア市の中心地にあり、多くの市民が集います。聖体の祝日や聖週間にはこの場所からパレードがスタートします。

ウェルカムレセプション

11月20日(土)
2 アルカサル

アルカサル
Real Alcazar

セビリア市主催によるジャパンウィーク参加者への歓迎の意を込めたウェルカムレセプションを行います。

ウェルカムレセプション会場

アルカサルは、14世紀に建造された宮殿です。カスティーリャ王国ペドロ1世の命により、グラナダのアルハンブラ宮殿をモデルとして建てられたこの宮殿は、1987年に「セビリアの大聖堂、アルカサル、インディアス古文書館」の一部として世界遺産に登録されました。

舞台公演

11月21日(日)～11月26日(金)　**3 ロペ・デ・ベガ劇場**

日本の伝統的な能、雅楽、文楽、地域民謡、和太鼓、琴、三味線、尺八、着物、郷土歌舞伎、大正琴、日本舞踊からバレエ、ダンス、よさこい、人形劇、演劇等を舞台公演により紹介します。

ロペ・デ・ベガ劇場
Lope de Vega Theatre（Casino de la Exposición内）

舞台公演会場

ロペ・デ・ベガ劇場はカジノ・デラ・エクスポジション内にあるネオバロック様式の劇場で、1929年に建設されました。美しく装飾されたこの劇場には、スペイン文学黄金世紀を代表する劇作家ロペ・デ・ベガの名前が付けられています。この劇場では、2年に一度世界最大規模のフラメンコの祭典、ビエナル・デ・フラメンコが開催されています。会場全体の広さは約4600m²、座席数は733席です。

会場周辺　詳細地図

ジャパンウィーク会場

1 サンフランシスコ広場
2 アルカサル
3 ロペ・デ・ベガ劇場
4 カジノ・デ・ラ・エクスポジション
5 アルガバ侯爵宮

主要観光地

6 セビリア大聖堂とヒラルダの塔
7 インディアス古文書館
8 スペイン広場
9 黄金の塔（海洋博物館）
10 メトロポール・パラソル
11 フラメンコ舞踊博物館

メトロポール・パラソル

展示・実演・ワークショップ

11月21日(日)～11月25日(木)　**4 カジノ・デラ・エクスポジション**

絵画、書画、伝統工芸、陶芸、彫刻、手芸、押し花、ちぎり絵、折り紙、染物、版画等の芸術、日本料理、ファッション等々の伝統文化から現代生活文化、そして華道・香道の作法等をデモンストレーション、ワークショップにより紹介します。

展示・実演・ワークショップ会場

カジノ・デラ・エクスポジションは1929年にイベロ・アメリカ博覧会の会場としてバレンシアの著名な建築家ヴィチェンテ・トレイバーによって建設されました。マリア・ルイサ公園やスペイン広場の隣に位置し、セビリア市の文化の中心となっています。これまでヨーロッパ映画祭、チェス世界大会、ビエナル・デ・フラメンコなどの重要なイベントの会場として使用されてきました。

カジノ・デラ・エクスポジション
Casino de la Exposición

茶道

11月21日(日)～11月26日(金)
5 アルガバ侯爵宮（こうしゃくぐう）

茶道実演を市民の皆様に体験していただくとともに、茶道の歴史・作法など理解を深めていただきます。

茶道会場

アルガバ侯爵宮はムデハル様式の象徴となっている館です。アルガバ侯爵邸の内部には、12世紀から20世紀までのムデハル様式に関する展示があります。

アルガバ侯爵宮
Palacio de los Marqueses de La Algaba

交流プログラム

11月22日(月)～11月26日(金)

学校・老人クラブ訪問交流
現地学校、老人クラブを訪問し、ワークショップなどを通じて交流を深めることができるプログラムを実施します。

音楽交流
スペインと日本相互の音楽演奏や合同演奏を通じた音楽交流を実施します。

民族舞踊交流
スペインの伝統舞踊グループと日本の伝統地域民謡グループとの舞踊交流を実施します。

料理交流
日本料理とスペイン料理の相互の料理交流を実施します。

自治体・姉妹都市交流プログラム

11月21日(日)～11月25日(木)
4 カジノ・デラ・エクスポジション

各地方自治体より、各地の観光地の魅力や郷土の物産などを紹介します。日本の美しさ、素晴らしさを日本各地の観光地を通じてスペインの人々にアピールします。